

【きょうのめあて】「はなの みち」を よんで かんがえよう。

こくご

5がつ1にち(きんようび)

きょうかしよ  
32ページ~39ページ

めあてについて

「はなの みち」というお話をおうちの人に読んでもらい、「こんなお話だったね。」とさし絵を参考にしながら考えることができることです。

今日が最初の学習ですので、お子さんの考えが話の内容と違っていても構いません。

「自由に」考えることができるといいなと思います。

活動①

●きょうかしよ 32ページを あけましょう。

「はなの みち」という おはなしです。

32ページ~39ページまで、おうちのひとに よんで もらいましょう。

(「今から読むからどんなお話だったか後で教えてね。」と言い、

ゆっくり、はっきり、読んであげてください。)

活動②

●「どんな おはなし でしたか。おうちの ひとに つたえましょう。」

(「どんなお話だったかな。」と聞き、「うん、うん」「そうなんだね」とうなずきながら聞いてあげてください。

もし自分の言葉で話すのが難しいようであれば、

① 「だれが出てきたかな。」

② 「くまさんは、何を見つけたかな。」

③ 33ページのさし絵をさしながら、「くまさん、何をしてるのかな。」

と、ページごとに質問してあげてください。

(お話の例)「くまさんが、ふくろを見つけて、りすさんに何が入っているか聞きに行った。

けれど、ふくろに穴があいていた。最後は、長い長い花の一本道ができたよ。」

☆ポイント☆「くまさんがね…」と思ったことを自由に自分の言葉で話せることです。

活動③

●おうちの ひとに つづいて、よんで みよう。

(手順)

① 「まず読んでみるから、そのあとに続いて読んでね。」と言う。

② おうちの人「はなの みち」→お子さん「はなの みち」と読む。

③ おうちの人「くまさんが、ふくろを 見つけました。」

→お子さん 「くまさんが、ふくろを 見つけました。」と読む。

④ おうちの人「おや、なにかな。」→お子さん「おや、なにかな。」と読む。

⑤ ③④のように、一文ずつ、交代で読んでいく。

☆ポイント☆ゆっくりで大丈夫です。

「音読するときの姿勢」(あしは ペったん、せなかは ぴん)で  
できるといいですね。



活動④ ● 「ひらがなれんしゅう」ノートの「て」「そ」のページを しよう。

(☆「ひらがなれんしゅう」ノートの使い方について☆のページをアップしています。

参考にしてください。

今日から二文字ずつ行います。無理のないよう、取り組んでください。

活動⑤ ● 「て」からはじまる ことばを さがそう。

(例:「てがみ」「てかがみ」など、「て」から始まる言葉を見つけます。

応用編

「て」から始まる2文字を見つけよう！(例:てつ)

「て」から始まる3文字を見つけよう！(例:てんき)

「て」から始まる4文字を見つけよう！(例:てつぼう)

など、「○文字で見つけよう！」と文字数を決めて探していくのもおもしろいと思います。

今日の「こくご」の学習は以上です。ありがとうございました。